

主催：日本ソルフェージュ研究協議会

第6回 ワークショップ

♪ 授業を通してソルフェージュを考える ♪

ご好評を頂いているワークショップも、お陰様で6回目を迎えることとなりました。今回の講師陣は、大阪音楽大学の飯田裕貴先生及び本協議会の栞場富美子理事です。ユーフォニウム、作曲、と出身の異なるお二人の模擬授業を通して、ソルフェージュ教育の可能性と問題点を皆様と共に考えていきたいと思っております。より多くの方のご参加を、心よりお待ちしております。

日本ソルフェージュ研究協議会会長 渡辺 健二

日時：2017年 **9月3日** (日) 14時開演 (13時30分開場)
会場：東京藝術大学音楽学部 第1ホール



飯田 裕貴 Yuki IIDA

明誠学院高等学校特別芸術コースを経て、国立音楽大学音楽学部ユーフォニウム専攻卒業。大阪音楽大学音楽専攻科修了。同大学院音楽研究科修士課程修了。その後同大学院研究生として、アンサンブルや管楽器奏者のためのソルフェージュ教育について研究を行う。現在、大阪音楽大学、明誠学院高等学校特別芸術コース非常勤講師。ユーフォニウムアンサンブル「Phoenix」メンバー。

◆リズム・ソルフェージュを通して音楽表現へ

学生が演奏する上で、リズムを正確に読めていない事やリズムの動きを身体で感じていない事が原因で、楽曲を理解した音楽的な表現までにまで至っていないと感ずることがある。今回は、フランスの作曲家、音楽教師でもあったノエル＝ギャロンの「リズム・ソルフェージュのための50の課題」を用いて、音高・アーティキュレーション・リズムの展開から強弱や構成を読み取り表現の工夫に取り組む。またリズム読みと同時に、手足で拍子や簡単なリズムパターンを打つことによって得られる感覚的な部分も大切にしたい。



栞場富美子 Tomiko KOHJIBA

東京藝術大学作曲科卒業、同大学院修了。国内外からの委嘱作品多数。別宮賞、芥川作曲賞受賞。ソルフェージュ関係の出版物も多い。楽譜は全音楽譜出版、音楽の友社、カワイ出版から出版されている。現在、東京音楽大学教授、東京藝術大学非常勤講師、日本ソルフェージュ研究協議会理事、日本現代音楽協会理事、日本ピアノ指導者協会評議員、他。

◆視点を変えたソルフェージュ課題

音楽史における記譜法の流れや作曲家の特徴などを含めて勉強できるようなソルフェージュ課題を、出版教材やオリジナル教材を用いて紹介します。

様々な視点から見ることで、より楽曲に対する理解を深め、学生がソルフェージュの授業を自分の演奏に役立つ授業として捉え、興味を持って取り組んでくれることを目指します。

▼入場料無料

なお、正会員以外の方は以下の経費負担をお願い致します。
一般 3,000円、学生 1,000円、賛助会員 1,500円

▼問い合わせ先：

日本ソルフェージュ研究協議会事務局

Tel. 090-5566-8567

E-mail : ni-sol-ken@island.dti.ne.jp

<http://www.ni-sol-ken.com/index.html>

